



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 オリジナル設計株式会社

コード番号 4642 URL <http://www.oec-solution.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菅 伸彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長

(氏名) 吉良 薫

TEL 03-6757-8800

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	3,454	10.4	150	—	154	—	98	—
24年12月期第3四半期	3,129	0.9	△184	—	△179	—	△219	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 127百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 △212百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	13.15	—
24年12月期第3四半期	△29.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	4,720	3,670	77.8
24年12月期	4,617	3,542	76.7

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,670百万円 24年12月期 3,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	0.8	84	—	86	—	35	—	4.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	7,796,800 株	24年12月期	7,796,800 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期3Q	329,605 株	24年12月期	328,651 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	7,467,547 株	24年12月期3Q	7,468,687 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成25年2月8日発表の通期業績予想を修正しておりません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. その他	9
(1) 連結受注・販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却を目指した大胆な金融政策に伴う対ドル・対ユーロで過度な円高の是正が進み、「復興・防災対策」、「暮らしの安全・地域活性化」、「成長による富の創出」を目指した過去2番目の規模の補正予算による機動的な財政政策などにより、日本企業の経営環境に明るさが見え始め、日経平均株価も堅調に推移し、9月調査の日銀短観では、大企業製造業の景況感が2008年秋のリーマンショック後で最高となるなど、景気が回復してまいりました。

当建設コンサルタント業界は、復興・防災対策の補正予算の執行に期待が高まりましたが、当グループの主力事業である上下水道分野では、他の都市インフラの復興計画の策定が遅れていることにより、本格的な予算執行は来期以降になるものと見込まれております。

このような外部環境のもと、当グループは、上下水道分野では、「安全」、「強靱」、「持続」、「連携」、「挑戦」をキーワードとした厚生労働省水道課が掲げる新水道ビジョンに則ったアセットマネジメント関連業務の積極的な受注活動を展開し、下水道分野では、国土交通省下水道部の主要7大テーマ、「震災復旧・復興の支援の強化と全国的な安全・安心対策の実施」、「未普及地域の早期解消」、「水環境マネジメントの推進」、「施設管理・運営の適正化」、「下水道経営の健全化」、「低炭素・循環型社会への取組推進」及び「国際展開と官民連携による水ビジネスの国際展開」に沿った受注活動を推進してまいりました。

他方、社内体制につきましては、組織のスリム化、マネジメント層の若返りと職責の再確認、社内における部署別月次経営指標による全社的収支状況の即時把握と迅速な軌道修正、業務フローの継続的な改善活動、職務内容・職責に応じた人件費の適正化などによる固定費の縮減などにより、経営収支の改善に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は39億4千8百万円（前年同四半期比16.2%増）となりました。一方、完成業務高は34億5千4百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は1億5千万円（前年同四半期は営業損失1億8千4百万円）、経常利益は1億5千4百万円（前年同四半期は経常損失1億7千9百万円）、四半期純利益は9千8百万円（前年同四半期は四半期純損失2億1千9百万円）となりました。

当グループにおける事業部門別の業績は、次のとおりであります。

[建設コンサルタント部門]

建設コンサルタント部門につきましては、受注高は35億円（前年同四半期比10.0%増）となりました。一方、完成業務高は31億8千9百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

[情報処理部門]

情報処理部門につきましては、受注高は4億4千7百万円（前年同四半期比107.2%増）となりました。一方、完成業務高は2億6千5百万円（前年同四半期比23.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、主として売上債権の減少、税金等調整前四半期純利益の計上、有価証券の取得による支出などにより、前連結会計年度末に比べて3億7千万円増加し、9億1千万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と増減の要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は7億9千2百万円（前年同四半期は3億7千5百万円の獲得）となりました。

主な内訳は税金等調整前四半期純利益1億5千1百万円、売上債権の減少額6億6千3百万円、未成業務受入金の増加額9千4百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は4億1千3百万円（前年同四半期は4億3千6百万円の使用）となりました。

これは主に有価証券の取得による支出6億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は8百万円（前年同四半期は7百万円の使用）となりました。

これは主にリース債務の返済による支出8百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における営業利益、経常利益及び四半期純利益は通期の連結業績予想における営業利益、経常利益及び四半期純利益をそれぞれ上回る結果となっておりますが、これは業績の黒字転換を図るべく展開しております経営改善活動により、生産性が回復基調にあることなどによるものであります。平成25年2月8日に公表した連結業績予想につきましては、現時点において変更しておりませんが、今後様々な要因を精査し、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当グループは、前期まで継続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

早急に黒字転換を図ることによりこの状況を解消するため、平成24年12月に取締役および執行役員を中心としたOEC経営改善委員会を設置し、過年度の経営実績の分析と社内の経営資源における課題を抽出し、組織の単純化、品質保証体制、作業効率の向上、総合原価の低減などに関し、経営改善活動を展開しております。

具体策として、利益率の高い業務の受注率向上を目指し、応札案件毎に各担当役員が適正入札価格の精査、部署月次経営成績の即時フィードバック、表とグラフを活用し各部署に掲示し部署経営状況を「見える化」することにより社員一人一人が部署経営状況の把握及び危機意識の共有、適切な工程管理による出来高向上、サービス作業の適正化、外注費管理の徹底、職責に応じた役職手当の見直し等による人件費削減や社内規定の改定に伴う旅費交通費の削減等を実施しております。さらに、中期的な成長戦略として時代のニーズに合わせた技術開発、海外案件の受注拡大を含めた新市場の開拓を進めて業績回復につながる活動を実施しております。

一方、資金面につきましては、当連結会計年度に見込まれる運転資金の需要に対して、現在の現預金残高での対応が十分に可能であり、新たな資金調達の必要性はありません。

従いまして、当社は、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,569,616	1,725,442
受取手形及び完成業務未収入金	1,417,124	753,192
有価証券	—	600,060
未成業務支出金	7,174	324
その他	49,345	47,511
流動資産合計	3,043,260	3,126,531
固定資産		
有形固定資産	302,926	300,218
無形固定資産	102,881	93,388
投資その他の資産		
長期性預金	800,000	800,000
その他	368,405	400,074
投資その他の資産合計	1,168,405	1,200,074
固定資産合計	1,574,213	1,593,681
資産合計	4,617,473	4,720,212
負債の部		
流動負債		
業務未払金	201,945	45,921
リース債務	11,075	7,037
未払法人税等	58,244	58,929
未成業務受入金	64,969	159,567
賞与引当金	19,070	61,312
受注損失引当金	29,567	43,255
その他	160,492	162,292
流動負債合計	545,365	538,315
固定負債		
リース債務	14,227	9,995
繰延税金負債	10,562	24,509
退職給付引当金	451,033	425,118
資産除去債務	45,141	43,744
その他	8,400	8,400
固定負債合計	529,365	511,768
負債合計	1,074,730	1,050,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,093,000	1,093,000
資本剰余金	3,109,291	3,109,291
利益剰余金	△372,383	△274,180
自己株式	△285,052	△285,181
株主資本合計	3,544,855	3,642,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,112	27,197
その他の包括利益累計額合計	△2,112	27,197
純資産合計	3,542,743	3,670,128
負債純資産合計	4,617,473	4,720,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
完成業務高	3,129,953	3,454,363
完成業務原価	2,403,810	2,478,120
売上総利益	726,143	976,242
販売費及び一般管理費	910,159	825,674
営業利益又は営業損失(△)	△184,016	150,568
営業外収益		
受取利息	2,103	2,293
受取配当金	2,038	2,153
出向者業務分担金	2,724	2,744
その他	8,618	7,110
営業外収益合計	15,484	14,301
営業外費用		
支払利息	1,074	1,348
株式関係費用	9,702	9,240
その他	237	172
営業外費用合計	11,014	10,761
経常利益又は経常損失(△)	△179,545	154,108
特別損失		
減損損失	1,260	—
固定資産除却損	191	2,433
特別損失合計	1,452	2,433
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△180,998	151,674
法人税、住民税及び事業税	38,238	54,584
法人税等調整額	△175	△1,113
法人税等合計	38,063	53,470
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△219,061	98,203
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△219,061	98,203

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△219,061	98,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,254	29,309
その他の包括利益合計	6,254	29,309
四半期包括利益	△212,807	127,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△212,807	127,513
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△180,998	151,674
減価償却費	47,032	44,686
減損損失	1,260	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	39,741	42,242
受注損失引当金の増減額(△は減少)	591	13,687
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,490	△25,915
受取利息及び受取配当金	△4,142	△4,446
支払利息	1,074	1,348
固定資産除売却損益(△は益)	191	2,433
売上債権の増減額(△は増加)	565,833	663,931
未成業務支出金の増減額(△は増加)	75,752	6,850
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,077	△156,024
未成業務受入金の増減額(△は減少)	78,684	94,597
その他	△46,190	4,359
小計	419,264	839,426
利息及び配当金の受取額	3,741	4,228
利息の支払額	△1,074	△1,348
法人税等の支払額	△47,659	△50,964
法人税等の還付額	932	755
営業活動によるキャッシュ・フロー	375,205	792,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△420,406	215,113
有価証券の取得による支出	—	△600,000
有形固定資産の取得による支出	△4,774	△12,534
無形固定資産の取得による支出	△23,379	△21,520
敷金及び保証金の差入による支出	△4,371	△3,915
敷金及び保証金の回収による収入	6,925	4,659
その他の支出	△7,559	△8,695
その他の収入	16,989	12,906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436,577	△413,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△127	△128
配当金の支払額	—	△2
リース債務の返済による支出	△7,592	△8,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,719	△8,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	△147	1,229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69,238	370,939
現金及び現金同等物の期首残高	844,211	539,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	774,972	910,018

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. その他

(1) 連結受注・販売実績

① 連結受注状況

当第3四半期の連結受注状況は次のとおりであります。

(単位：千円)

事業内容	前第3四半期 (平成24年12月期 第3四半期)		当第3四半期 (平成25年12月期 第3四半期)		(参考) (平成24年12月期)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
建設コンサルタント部門						
上下水道（調査・計画・ 実施設計・施工監理）	3,011,619	2,252,657	3,331,886	2,651,915	4,232,522	2,379,324
その他	171,214	128,454	168,404	148,804	220,119	110,354
小計	3,182,834	2,381,111	3,500,290	2,800,719	4,452,642	2,489,679
情報処理部門						
都市施設情報管理・ソフト開発	216,075	205,324	447,721	409,605	312,718	226,997
小計	216,075	205,324	447,721	409,605	312,718	226,997
合計	3,398,909	2,586,436	3,948,012	3,210,325	4,765,360	2,716,676

(注) 1. 金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 当社の事業の性格から数量の把握が困難なため数量記載を省略しております。

② 連結販売実績

当第3四半期の連結販売実績は次のとおりであります。

(単位：千円)

事業内容	前第3四半期 (平成24年12月期 第3四半期)		当第3四半期 (平成25年12月期 第3四半期)		(参考) (平成24年12月期)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
建設コンサルタント部門		%		%		%
上下水道（調査・計画・ 実施設計・施工監理）	2,686,028	85.8	3,059,296	88.5	3,780,263	86.6
その他	97,070	3.1	129,953	3.8	164,074	3.7
小計	2,783,098	88.9	3,189,250	92.3	3,944,338	90.3
情報処理部門						
都市施設情報管理・ソフト開発	346,855	11.1	265,113	7.7	421,825	9.7
小計	346,855	11.1	265,113	7.7	421,825	9.7
合計	3,129,953	100.0	3,454,363	100.0	4,366,163	100.0

(注) 1. 金額は販売価額で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 当社の事業の性格から数量の把握が困難なため数量記載を省略しております。